

和の光



宝塚市立西谷中学校

挨拶は人間関係を築くコミュニケーション・ツール

西谷中学校長 筒井 啓介

私は、できる限り生徒の登校時に校門に立って、登校してくる生徒に挨拶をしています。すると、「校長先生おはようございます」と元気な挨拶をする生徒や、少し照れながら挨拶する生徒など、様々な生徒がいます。また、「校長先生、今日はテストがあるから足が重くて…」「校長先生、春休みはなんとか宿題を終わらすことができました」「校長先生、実はこんなことで困っています」などいろいろな会話をしてくれる生徒もいます。「おはよう」挨拶一つで、次の会話に繋がるのだと実感しています。

家庭や学校・社会において「おはよう」「こんにちは」「こんばんは」などの挨拶は当たり前のように交わされていますが、その意味を少し調べてみました。「日本文化いろは事典」によると、「おはよう」は「お早くから、ご苦労様でございます」の略で、朝から働く人に向けての、ねぎらいや気遣いの言葉だったそうです。「こんにちは」は「今日(こんにち)は、ご機嫌いかがですか」の略であり、お昼に初めて出会った人の体調や心境を気遣う声掛けであったそうです。「こんばんは」は「今晚は良い晩ですね」の略だといわれています。また「さようなら」は「左様ならば」の略で、「それならば私はこれで失礼いたします」という意味だといわれています。

ここでもう少し、挨拶について考えてみたいと思います。挨拶は、単なる社交的、儀礼的な言葉ではありません。お互いの存在を認め、あなたに関心を持っていますよと知らせるためのものです。さらに、相手に敵ではないことを知らせる手段でもあります。自分が挨拶をしたのに相手から反応がなかったとき、多くの方が不快感を持つのは自分の存在を認められなかったと感じるからです。人は社会的な生き物なので、誰かと関わるのが欠かせません。また、**仲間づくりのためには「他人を認める」ことが必要になってきます。**

心理学者アブラハム・マズローは「欲求5段階説」の中で、人は誰でも、「人から認められたい」、「自分も自分を認めたい」という「承認欲求」があると述べています。「自分の存在理由や存在価値を確かめたい」という思いは、誰もが心の奥底に持つ強い欲求なのです。このように**挨拶は、相手の存在を認めていることを積極的に伝える手段であり、「あなたを認めています」「あなたとの人間関係を前向きに考えています」ということを伝えるためのコミュニケーション・ツールだといえます。**

西谷中の生徒の皆さんは、幼い頃から顔見知りの友達と過ごしていますが、中学校を卒業し、高校等の進学先や社会に出た時、見知らぬ人との人間関係作りが大きな課題になると思います。そのような時に、挨拶の意味を理解し、自ら挨拶ができれば、スムーズな人間関係作りができると思います。ぜひ、普段から自然に挨拶ができる力を身に付けて欲しいと願っています。

挨拶するときには、相手にできる限り良い印象を与えるようにしたいものです。そのコツを3つ紹介しますので、参考にしてください。さあ、**恥ずかしがらず元気な挨拶ができるように、自らの殻を破っていきましょう。**

■挨拶は先手必勝

相手からの挨拶を期待するのではなく、まず**自分から挨拶をしましょう。**初めに挨拶をした人が、その後の会話の主導権を握るとも言われています。挨拶のタイミングを逃してしまい、後で気まずい思いをする前に、先に挨拶をしましょう。挨拶をして失敗することは、まずありません。

■笑顔で元気よく挨拶する

相手に伝わる挨拶をするためには、表情はとても大切です。暗い顔で挨拶をされても、相手は不愉快な気分になってしまいます。笑顔には人を引き付けるパワーがあります。誰でも笑顔で挨拶をされると自然と自分も笑顔になります。**笑顔で元気よく挨拶しましょう。**

■相手を見て名前を入れて挨拶する

誰に向かって挨拶しているか分かるように、**相手の顔を見て「〇〇さん、おはようございます」と名前を入れて挨拶します。**名前を呼ぶことによって、相手の印象は大きく変わります。「私はあなたに関心を持っています」というメッセージを発信しているのと同じです。

■あいさつ運動を実施しました



4月12日の朝、今年度はじめての挨拶運動が実施されました。西谷地域の皆さん、西谷幼稚園・小学校・中学校の教職員、西谷中学校の生徒会執行部の皆で、校門前のバス停周辺に立って、登校して来る小・中学生や園児に挨拶を交わしました。月1回の取り組みですが、子どもたちが地域の方々に見守られながら育っていくことを本当に有り難く思います。早朝から挨拶運動に参加いただいた皆様に心より御礼を申し上げます。

■離任式を行いました

4月16日、離任式を行いました。令和5年度末に離任された先生方のうち、3名の先生方に出席いただき、在校生と教職員に向けてご挨拶をいただきました。また、生徒会の代表生徒からお礼の言葉を述べさせていただくとともに、記念の色紙と花束をお渡ししました。離任される先生方からのメッセージをしっかりと受け止め、西谷中の学校生活を皆でより良いものにしていきましょう。最後になりますが、上田 昌弘教頭先生、高橋 良輔先生、長尾 悠平先生の益々のご活躍をお祈りします。



離任された先生方からのメッセージ



生徒会からのメッセージ



花束と色紙の贈呈



全校生で花道をつくってお別れ